

令和5年度始業式

【校長の言葉】

みなさん、おはようございます。

新しい学年、新しいクラスそして久しぶりに友達に会えてうれしい気持ちでいっぱいだと思いますが、大切な話をするので、おしゃべりをやめてきちんと話を聞きましょう。

新型コロナウイルスが流行り始めて3年が経ちました。長いコロナ禍の生活も出口が見えてきました。みなさんもニュースなどで知っている人もいると思いますが、新学期4月1日から学校生活もマスク不要が基本となりました。

つまり、マスクをつけなくてもいい学校生活が始まります。友達の中には、マスクをはずせない人やマスクをつけられない人がいます。ひとりひとりの気持ちや考えを尊重して、思いやりのある行動をとることが大切です。友達の気持ちを考えずにマスクをつけること、つけないことを無理に求めることがないようにしましょう。

とは言っても、すべてのコロナウイルスは退治できていません。みなさん一人一人がウイルスにかからないために、これまでやってきた手洗い、うがいはしっかり続けていきましょう。みなさん一人一人のきちんとした行動が大事です。新型コロナウイルス予防を常に心がけていきましょう。

新学期を迎えて、校長先生から藤久保小学校の子どもとして、こういうことを頑張ってもらいたい、ということをお話します。

まず一つ目。当たり前のことを当たり前にする藤小の子どもであってほしいということです。みなさんは学校で何をしていますか。勉強、運動、クラブや委員会、係や当番、友達と遊ぶこと、たくさんあります。それらは、小学生として当たり前のことです。勉強しない理由、掃除をしない理由、あいさつをしない理由はありません。みんな当たり前をやらなければならないことです。それらを先生から言われなくてもできる、藤久保小のみんなであってほしいです。

二つ目は、自分も大切、友達も大切にしてほしいということです。大切にするのは、心と体の両方です。自分の心や体を大切にするために、友達の心や体を傷つけてしまっはいけません。思い通りにならないからと人をたたいたり蹴とばしたりする人がいる、失敗した友達にアドバイスしてあげればいいのか、失敗を笑ったりする人がいる。自分と違う考えの人に悪口を言って仲間はずれにする人がいる。人はみんなちがって当たり前です。みんなが、お互いを思いやり、手助けしたり協力したりしながら、毎日の学校生活をよりよくして、藤久保小学校をもっといい学校にしてほしいです。

今日から始まる新学期、新しいクラスで、先生や友達と一緒に勉強や運動、行事や係・当番活動など、一日一日を精一杯しっかりやって、最後に「このクラスよかった」と思えるよう、力を合わせて、いいクラス、いい学年になるように頑張ってください。

これで、校長先生の話を終わりにします。